

伊 豆 鳥 島（平成 14 年（2002 年）年報）

平成 14 年の活動概況

8 月 12 日から 14 日に噴火が確認されました。8 月 11 日、海上保安庁による航空機からの観測で、白色噴煙が硫黄山山頂付近から上がっているのが確認され、翌 12 日に、気象庁職員による、上空からの火口観測¹で噴火を確認しました。

伊豆鳥島で噴火が確認されたのは、昭和 14 年（1939 年）以来となります。

¹ 海上保安庁の協力による

主な活動経過

日付	火山活動及び経過概要	火山情報発表状況
8 月 11 日	鳥島付近航行中の遊漁船より、鳥島頂上付近から白色噴煙が上がっている旨の連絡が海上保安本部に入る。 海上保安庁による航空機からの観測で、白色噴煙が硫黄山山頂付近から上がっているのが確認。	22:30 観測 1 号
8 月 12 日	海上保安庁の協力により、航空機による上空からの目視およびカメラによる観測を実施。火山灰混じりの噴煙が、火口上 600m の高さまで上がり、西方向へ数十 km 程度まで流れていた。 上空からの観測では、硫黄山山頂火口の南西火口壁より火山灰混じりの灰白色の噴煙が、また南から南東にかけての側壁からは、白色の噴煙が確認された。 火口内には、水が溜まり、また、山頂付近から北北西側の 3～4 合目付近までにかけて降灰を確認。	17:15 観測 2 号
8 月 13 日	上空からの観測 ² で灰色の噴煙を確認	
8 月 14 日		
8 月 21 日	上空からの観測 ² で噴煙は確認されず。	

² 海上保安庁による



図 1 南東の上空から撮影した伊豆鳥島。噴煙は西～北西方向へ流れる。
(8 月 12 日 12 時頃、海上保安庁の航空機より撮影)

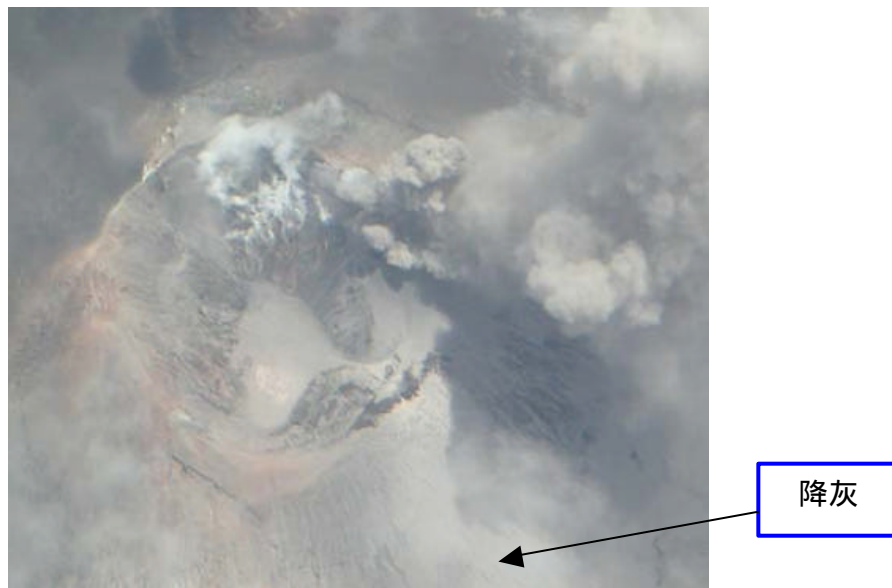


図 2 山頂火口上空の様子。降灰が確認される。
（8月12日12時頃、海上保安庁の航空機より撮影）



図 2 硫黄山山頂火口の様子。21日は噴煙は確認されなかった。
（8月21日、海上保安庁 撮影）